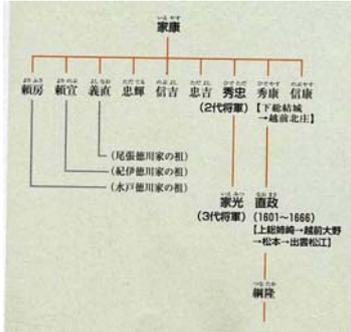


2-3 松本城クイズ 松本城のはねみ(辰巳附櫓・月見櫓)(解答・解説)

松本城管理事務所研究室

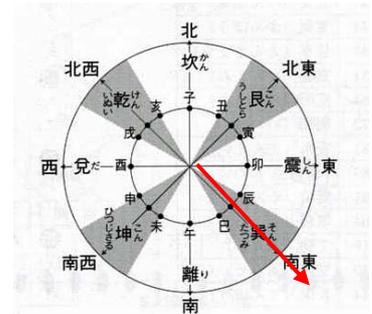
1. 辰巳附櫓と月見櫓は、天守・渡櫓・乾小天守が造られてから40年後に築造されたものです。増築したといわれる城主は誰でしょうか。 _____ ③



辰巳附櫓と月見櫓を増築したといわれる城主は、徳川家康の孫、3代将軍家光と従兄弟にあたる**松平直政**といわれています。寛永10年(1633)越前大野より7万石で入封しました。城主の期間は5年と短かったのですが、辰巳附櫓・月見櫓、八千俵蔵、六九の厩、銭座の開設等に力を尽くしました。平和な世の中となり、建て方も優雅な感じがします。出雲国松江に転封となりました。

2. 辰巳(巽)とは方角を指します。辰巳の方角とは次のうちどちらでしょうか。 _____ ①

辰巳(巽)の方向とは、図からも分かる通り(赤線の方角)**南東の方角**を指します。その反對方角が乾(戌亥)にあたります。大天守からみて辰巳(巽)の方角にあったので、そう呼ばれたのでしょう。江戸時代の絵図によっては、矢倉と書き印たものもあります。



3. 辰巳附櫓と月見櫓の柱のほとんどの材質は、次のうちのどれが正しいでしょうか。 _____ ④

辰巳附櫓1階の柱は全部で14本あります。大天守添柱と東側中央の2本の柱を除いて、他は全て1, 2階の通し柱です。その材質は後世の取替え柱3本(松2, 梅1)以外は全て**檜材**です。また、月見櫓の1階柱は創建当初の檜材です。根太は檜材で、後世の取替え材でした。回縁(まわりえん)に用いられた各部材は、腕木、高欄、根太、縁板まで全てが檜材でした。将軍をもてなす最高の材であったでしょう。

4. 辰巳附櫓北側土台は、石垣の上に構築してあります。南側は石垣より約70cm持ち出しとなっています。この持ち出し土台を何というのでしょうか。 _____ ①



辰巳附櫓南側は他の櫓にない特殊な構造になっています。約70cmも石垣の外へ持ち出した**側土台(かわどだい)**の上に構築されています。それは、櫓東に月見櫓があり、その1階床面の高さを揃え、月見櫓南壁と「面一」(つらいち)に築かれています。月見櫓には地階部があって、その土台を1, 6m程低位置に敷いたため、この辺の石垣勾配が約66°あるので、上部にある辰巳附櫓の土台は約70cmの持ち出しとなりました。この部分を「石落し」にしようと思えば転用できますが、この櫓を築造するころにはもう、平和な時代で武備を施す必要はありませんでした。

5. 月見櫓は□重□階地下□階といわれています。□に当てはまる数字はどれでしょうか。 _____ ③

月見櫓は辰巳附櫓の東に接続して建てられた**一重一階一部地下一階付**です。屋根は東面寄棟造、本瓦葺です。戦いの時代は終わって、平和な時代になって建てられたものです。戦いのための武備はなく、造りは優雅な趣をもっています。現在月見櫓がある城は、松本城と岡山城だけで、天守と一体になっているのは松本城が唯一です。複合式といわれる所以です。

6、天守と一体となった月見櫓は、松本城が唯一といわれています。月見櫓が造られた目的は何だったのでしょうか。 _____ ④

松平直政による二棟増築の意図は何であったかは、いまだ確証はありません。元和元年（1615）以後は築城制限が厳しくなり、たとえ徳川氏の「御家門」とはいえ、築造にはそれなりの理由を必要としたにちがいありません。月見櫓の「観月」を名目上の理由にした（3代将軍家光来城の計画があった）とする説があります。月見櫓の構造の開放性や船底天井・内法長押等住宅風にしたり、朱塗りの高欄付回縁を巡らしたりしていることから、**観月がやはり増築の主目的**と思われます。

7、月見櫓には、三方が吹き抜けになったり、朱塗りの廊下が回されています。この廊下のことを何と呼ぶのでしょうか。 _____ ③



月見櫓の特徴は、三方に巡らした**回縁**（まわりえん・廻縁とも書く）でしょう。約107、6cmの持ち出しで、14本の腕木によって支えられています。1階床の梁や根太の下端で押さえられています。回縁の部材（腕木・高欄・根太・縁板まですべて檜材です。回縁の南東と北東の隅に施された高欄は、風格のある**勿高欄**（はねこうらん）としています。



8、月見櫓を外からみると、板戸に細いさんを水平に取り付けた戸が三方に建てまわされています。この戸を何と呼ぶのでしょうか。 _____ ②



三方を各三間ずつ掃き出しに開け放って、書院風に引き違い2本建ての**舞良戸**（まいらど）を建てています。

舞良戸とは、周囲のかまちの中に水平の細いさんを間隔をつめてとりつけた板をはった戸のことを言います。

気をつけてみれば、色々な場所で今でも使われているのがわかります。

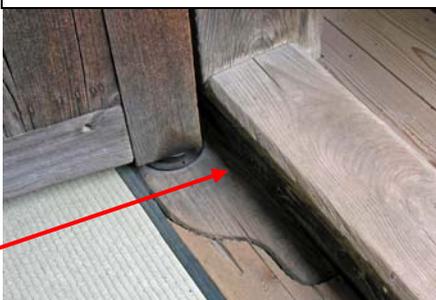
9、月見櫓の天井をみると、大天守・渡櫓・乾小天守には見られないつくりが目を引きます。この天井を何と呼ぶのでしょうか。 _____ ④

月見櫓は住宅的要素を具備しています。先に述べたように舞良戸を建てて内部は**船底天井化粧裏**とするなど風雅な趣を添えています。写真のように梁をみせて化粧板（柿渋を塗る）を張ってあります。

船底天井とは、断面山形で、中央の天井高が両端に比べて高い天井をしているものをいいます。



10、月見櫓の出入口は、冠木構えとなっています。扉の軸を受けるために写真のような割形付の材を取り付けてあります。このものを何と呼ぶのでしょうか。 _____ ①



月見櫓の出入口は、門扉が**藁座**（わらざ）といわれる仕組みで支えられています。門扉の軸の上端と下端に凸部分をつくり、それを上下の凹穴の割形が受け止める仕組みです。観月楼の出入口にふさわしい、しゃれた仕組みといえます。黒門や太鼓門の門扉と比べてみてください。その違いが分ります。